

# 卒業生からのメッセージ

村里 勇毅  
Yuuki MURASATO

SCSK 株式会社  
SCSK Corporation  
<http://www.scsk.jp/>

戸田 文月  
Fuzuki TODA

九州産業大学総合情報基盤センター  
Computing and Networking Center of Kyushu Sangyo University  
<http://www.cnc.kyusan-u.ac.jp/>

## 1. 在学生の皆さんへ (村里 勇毅)

### はじめに

在学生のみなさんこんにちは。1期生の村里です。この度『卒業生からのメッセージ』という貴重な機会をいただきましたので、しばらくお付き合いください。まずは簡単に自己紹介ですが、2006年に卒業して現在は東京のSCSK株式会社という会社でシステムエンジニアとして日々IT業界の荒波に立ち向かっています。今回は『東京のIT企業で働くこと』の魅力について語りたいと思います。

### 『東京』の『IT企業』で働こう

#### 『IT』は時代の最先端！

何と言ってもIT企業の魅力は『時代の最先端』を走っているところです。時代の進化は常にITに支えられてきました。IT無くして世の中の発展はあり得ません。具体的にはこんな感じです。

- ・20年前: ポケベル、文通(?)全盛期
- ・10年前: ガラケー、mixi 全盛期
- ・今: スマホ、SNS アプリ全盛期

あと10年後にはスマホもLINEもパズドラも衰退して、新しい技術やサービスが世の中を駆け巡っているはずですよ。そんな、新しい時代を創る『IT』の世界で働いていると、世の中の変化を先取りできて楽しいですよ。

#### 『東京』は仕事がデカイ！

日本は良くも悪くも『東京』一極集中型の国です。次の円グラフを見てください。

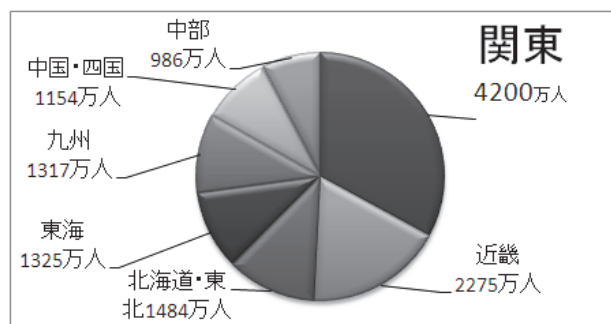


図1 日本の人口分布(2010年国勢調査より)[1]

日本人の3人に1人は関東に住んでいます。必然的に都心部には人や物、お金や仕事が集まってきます。大企業やイケイケのベンチャー企業が乱立し、『数億円』規模の仕事がゴロゴロ転がっています。魑魅魍魎が蠢く日本の中心に身を置いていると、強制的にレベルアップすることができますよ。

#### 『年収』が高い！

こんなデータがあります。

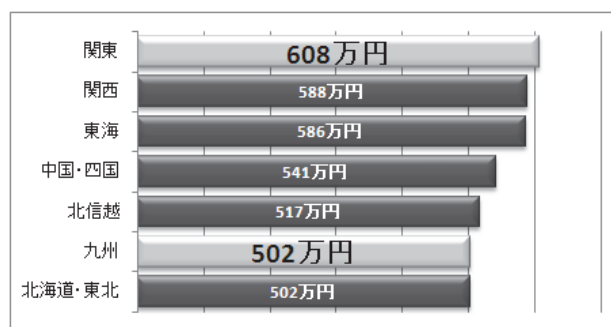


図2 給与地域間格差[2]

なんと関東と九州では平均年収に100万円近く差があるそうです。私の周りでも実際にそれくらいの開きがある気がします。歳を重ねる毎にさらに年収の開きが大きくなるというデータもあるようです。どうせ働くなら、たくさん稼ぎたいと思いませんか？

とまあ東京の魅力を一個人の独断と偏見に満ちた視点でご紹介してきましたが、いかがでしたか。魅

力的だと思った人も、そうでない人も『今』これだけはやっておいてほしいことがあります。

## 『今』これだけはやっておこう

### 『武器』をさがそう！

「他の誰にも負けないことは何ですか？」と聞かれたら何と答えますか？学生時代の私は『単位数』と『コミュニケーション』と答えていました。成績はいまいちでしたが、単位は売るほど持っていました。学生時代のうちに、『アルバイト』でも『笑顔』でもどんなことでもいいので胸を張って『武器』だと言えることを探しておいてください。きっとどこかで(特に就活とかで)役立ちます！

### 本気で『就活』をしよう！

学生時代の時間の使い方は、授業、卒論、デート、アルバイト、様々だと思います。ただし『就活』の時期だけは他のことは忘れて『全力で本気で』就活に取り組んでください！その数ヶ月がその後の5年、10年にモロに影響してきます。年収が高いも低いも、ブラックもホワイトも、GW年末年始に休みがあるか無いかも、就活次第です。全力投球すればそこそこいい会社に入れますのでガンバってください。

### 全力で『遊』ぼう！

いわれなくても遊んでます？いやいやもっと全力で遊びましょう。大学時代が人生で一番自由な時期です。卒業すると色々なモノを背負っていくことになります。仕事、納期、責任、納税、婚活、結婚、上司、部下、出世、出向…。恐いですね。今のうちに全力で遊んで一生ものの思い出を沢山作っておきましょう。

### おわりに

東京に上京して9年が過ぎました。福岡にいる頃には気づかなかったのですが福岡は『食べ物がうまい！』『海が青い！』『美人が多い！』です。学生の頃には当たり前そこにあったものなのに、本当にそう思うのです。この感覚は一度地元を離れないと味わえないと思います。

上京して色々な変化がありましたが、『地元の良いところ』を知り『地元がもっと好きになった』ことが一番大きな変化でした。みなさんも今、学んでいる『IT』をしっかりと身につけて日本の中心で活躍してみませんか？東京でお待ちしています。

## 著者紹介

村里 勇毅 (むらさと ゆうき)

平成18年3月 九州産業大学情報科学部知能情報学科卒業 松永・合志研究室所属

参考

[1] 都道府県の人口一覧

<http://ja.wikipedia.org/wiki/%E9%83%BD%E9%81%93%E5%B%A%9C%E7%9C%8C%E3%81%AE%E4%BA%BA%E5%8F%A3%E4%B8%80%E8%A6%A7>

[2] エンジニアの給与にも地域間格差は本当にある？

[http://next.rikunabi.com/tech/docs/ct\\_s03600.jsp?p=001167](http://next.rikunabi.com/tech/docs/ct_s03600.jsp?p=001167)

## 2. 在学生の皆さんへ

(戸田 文月)

在学生のみなさん、はじめまして。戸田文月です。平成26年の3月に本学を卒業後、4月から総合情報基盤センターの事務職員として勤務しています。毎日が勉強で、あっという間に半年が経過しました。

今、学生生活は充実していますか。大学の授業が将来役に立つのだろうか、就職活動は上手くいくだろうか、就職先できちんと仕事ができるだろうか…いろいろと悩んでいるのではないのでしょうか。実は、私も学生の頃は不安でいっぱいでした。みなさんの不安が少しでも軽くなるよう、一足先に社会に出た私から、「学生の頃、頑張っていて良かったこと」や「もっと頑張っておけば良かったこと」について、メッセージを送りたいと思います。

入社すると、まず、会社のシステムを理解することからはじめます。上司からシステムの説明を受ける際は、基礎があれば専門用語があってもスムーズに聞き取り、理解することができますが、基礎知識がないと専門用語に戸惑い、理解に時間がかかることがあります。そこで、アドバイスの1つですが、学生時代

に、基礎知識を身に付けるため、授業で一生懸命学ぶことが大切です。私もまだまだ力不足なので、上司や先輩の説明などを理解するのに時間がかかりますが、その都度、自分で調べて、自分自身で理解できるように努力しています。

私の仕事内容の1つに電話対応があります。学生、先生、保護者の方からパソコンに関する問い合わせが多くあり、正しい情報をすばやく伝える必要があります。ここでは、卒業研究での経験が役に立ちました。卒業研究である「九州産業大学 iOS アプリケーション」の機能を決定する際は、まず、利用者の立場に立ち、需要のある機能を考えて、さらに、周りの人に相談することを心がけていました。そのおかげで、電話対応では、問い合わせ内容や相手の状況を理解して、臨機応変に対応することができています。また、答えられないときは、聞き取れたキーワードを調べ、整理してから、上司に相談することで解決しています。このように、全く関係がないと思われるアプリケーション開発1つとってみても、相手の立場に立って考え、次の行動を決めることや、相談をして答えを導き出すといったことが知らないうちに身に付いており、職場でも大いに役立っています。就職活動でも自分の意見を相手に伝えることができたのは、この経験があったからだと思います。

事務の仕事では、ツールとして Microsoft Office ソフトを使用することが多いです。操作自体は簡単ですが、事務の業務では、学生時代のスピードでは通用しません。また、社会に出ると、期限までに自力で作業を進めて間に合わせることを要求されます。しかし、作業スピードを早めることや効率的に業務をこなすことは、基本的かつ応用的な知識を持っていないと難しいのです。そこで私は、自信をつけるために夏休みを利用して MOS の資格を取得しました。そして、今まで手動で行っていた作業をマクロや VBA を使い、自動処理することによって、短時間で処理できるようになりました。

しかし、社会人にとって、仕事をしながら資格をとるのは大変だと実感しました。本学は、チャレンジする学生に対してのサポートが充実しています。その中の1つに『資格講座』があります。あらゆる資格講座が開設されているので、自分のチャレンジに大学を活用してみてください。総合情報基盤センターでも

MOS や IT パスポート、CAD、Illustrator クリエイター等の資格取得講座を開講しています。チャレンジしたい学生はぜひ中央会館 3F の総合情報基盤センター事務室までお越しくださいね。

最後になりますが、社会人となって、壁にぶつかることもあります。試行錯誤を重ねて一人前になれるよう頑張っています。先ほど、例として資格試験のチャレンジを挙げましたが、学生時代は社会人と比べ時間にゆとりがあります。様々なことに挑戦できるとても良い時期です。まずは大学がどのような事に取り組んでいて、学生のチャレンジに対してどのようなサポートをしてくれるのか、その情報をすすんで取りに行くことが大切です。情報を得ることに対して受身の姿勢ではなく、能動的な姿勢が大事です。そして、私のようにどんどんチャレンジをして悔いの残らない大学生活を過ごしてください。チャレンジしたその姿勢や経験は、将来きっと役に立つはずですよ。

## 著者紹介

戸田 文月（とだ ふづき）

平成 26 年 3 月 九州産業大学情報科学部情報科学科卒業 田中研究室所属